

刊夕日三十月六



第一号... 昭和七年十月四日... 發行所 常磐高日新聞社... 電話 六三〇番

### 四大經典の指示

眞 繼 雲 山

大藏經典、新舊合して一萬五千餘卷と稱せらるゝものは、短い人間の五十年間をことごとく捧ぐることも容易に讀破されさうにもない況んや難解なる經典の眞意を味解することをや。左れど私たちは經典を讀誦することが目的ではなくして、その眞意を結論とをつかめば足りる。

小乘經典は、その説示と對機は復雜多岐であるが、大乘經典に至りては、歸するところ、おのづから一なるを示す。華嚴、般若、法華、涅槃は、その代表的な四大經典として知られる。佛教は以上で説きつくされて、餘蘊なしとさへいはれる。先賢の判釋に従へば、これをたとへんに、大般若經は皆空を説いたものであつて平原である、法華經は諸法の實相を説いたものであつて、大地を流るゝ川である、華嚴經は法界の常住を説いたものであつて、嚴として聳ゆる不拔の山である、而して涅槃經は、悉有佛性を説いたものであつて、衆水を容るゝ海であるといふ。更に一步を進めて略説せんに、先づ第一に大般若經は

諸法皆空の理を説いたものであつて、諸法皆空は無所得、中道の義となる。森羅萬象は、この皆空の上に妙有として築かれた無常の姿であつて、妙有の土臺は何處まで行つても皆空である皆空の上に一切の教法は現前するゆゑに、古來この經をもつて諸佛の母、菩提の慧父なりとする。その空觀の徹底境は、正覺といひ眞如と名づくべき定法すらもないといふに歸する。しかも佛教の生命は、空觀に終らずして平原の上に、妙有として連設せらるゝところにある。

法華經は諸法の實相を説いたものである。實相とは此岸(この土、娑婆、現象界)相對界のことの化相に對する彼岸の實相の謂ひであつて、此土と彼岸と本來一味にして無窮なのであるも衆生は迷妄の故に生死の河畔に立つ。法華經は則ち迷へる此土の衆生をみなならしめて悟りの彼岸に渡さんとするものであつて、應身佛としての釋尊は、今も法身佛として靈鷲山上にいまして、永久に滅し給はぬやうに、化身に惱める私たちに

も亦た法華經の説示によりて、生死の河川を渡り、久遠實成の本佛と一味となることが出来るのである。華嚴經は、天地萬物が因果によつて縁起するところの事理法界たることを示し、その事理とは重々として無盡無礙なりとする法界常住の雄大な思想が盛られてゐるのである。印度大平原の一角に聳ゆるヒマヤラの靈峰は、この思想の表象されたものであり、この雪山ありて、この思想生れしと考へられる。法界常住なるが故に、私たちは永生の磐石上に泰然たる事が出来る。

涅槃經は、一切衆生悉有佛性の義を明らかにしたものであつて、有情非情同事成道、山川草木悉皆成佛といふは、その歸結である。平原といひ河川といひ、山岳といふ依報器世間に生くる一切衆生は、佛法に歸依することによつて平等法性の涅槃の海に入りて成佛することが出来る、それは四姓沙門に入つて釋氏となつたやうに、また衆水の海に入りて一味となるがやうに、これを要するに、以上四六經典の眼目は諸法皆空といふ大平原の上に、妙有として組み立てられた山川國土と一切衆生は擧げて佛性の海に一味となるべきを異口

同音に示したものであつて一元、開いて萬染の櫻となり、又それが一元に歸する

## 外科

門 專 X  
科 線 光  
上田外科醫院  
平町南町  
電話一二九番

恩給 年 金 立替  
簡易 保險 即時  
無 盡 通 帳 賣 買  
其 他 債 券  
平町一丁目一四番地  
鈴木重藏

貯金は福島貯蓄へ  
預金には税金がかかりません  
御子様のため貯金  
平町田町(新道通り清水醫院跡)  
福島貯蓄銀行  
平支店  
電話三〇八番  
預金と拂出し御融通も懇切御便利を旨とし  
月掛貯金には集金人が伺ひます

東京市本郷駒込追分町  
(茶代不用) 上野驛ヨリ(自動車約五分  
電車約十五分)  
駒込込館  
一泊金一圓八十錢(食附但シ二食)  
電話(小石川)三一六五番

貸切は●●●  
セダン揃ひで  
貸切専門の  
昭和タクシーへ  
電話三四三

炭石  
皆様が  
よい品を  
お安く  
お求め  
お望みなら  
先づ... 先づ  
三七番へ

よい品を安く賣る店  
電話三七番  
阿部石炭商店

耳鼻咽喉科専門  
氣管食道科  
平南町(電話一七〇番)  
大和田醫院  
赤い目に一滴できく  
かゆ目  
目薬 神 水 (新容器入)  
平町二丁目(電話三二六)  
堀 藥 局

月曜言論

町營金庫説あり

▼此程社に訪客あり、談偶々疲弊困憊せる地方の現狀を説くに及んで曰く「平庶民金庫は今や平町金融の中心機關である、此の母体たる信用組合を町營にせば一層その進展に力あらん」と

▼平町所在の銀行支店は預金の吸集と貸金の整理にのみ急にして、投資を危険視し、融通を拒んで金庫の扉を固く閉し、容易に是れを開かうとしない、斯くの如くんば、到底金融の圓滑を圖る譯には行かないから平町としては強力な金融機關を持たねばならぬ事に異論はない、そして庶民金庫が丁度其の役割に當てはまる利役者である意味に於いて、是れが發達を望むや切なるものがある

▼さればと云つて是れを町營になして幾何の利益があるか？信用組合は即ち相互扶助的共存共營の自活的利便の組織に成る、町營に爲さねば其發達の覺束なき事情ありとせば、縱令町營に爲したからとて成果を納め得べきものとも思はれず要するに組合員の自覺如何が組合進退の岐路にありと信ず

▼目下の處、組合の運用上さしたる批難あるを聞かず、此分で行けば、組合が町の金融中心たる資格を把握するも決して難事には

ずと思ふ、此際町營といふが如き意味もなき一種の事大思想に煩される事なく、飽迄も自治的圓滿な發達の道程をたどりしむるを可とじて己まず

▼たゞ一部に町營説の擡頭する程、左様に庶民金庫が重大視せられるに至つた事を思ふ時、組合は其本然の使命を果す上に、張り合ある意氣込みを感じて躍進すべきであらうと共に、組合の結成分子たる組合員も自己本位の立場を脱却して公共機關の助成を念とすべきであると思ふ

四倉繭市場

けふ開場

既に競つて出荷 最盛期は廿日頃 毎夜ラヂオで放送

石城郡四倉町の繭市場は愈々本日より開場となつたが本年の春繭は氣候順調であつたため既に開場前に上簇を終つた大野、大浦、神谷の各部落が競つて出荷して居り郡下各村とも續々上簇期に入つて居るので廿日頃には最盛期に達すべく本日の相場は御祝儀氣分とあつて貫二圓五六十錢と見られて居る尙ほ同市場では本日より廿五日迄の春繭及び八月廿五日より十月十日迄の秋繭取引相場を仙臺放送局よりラヂオを以つて一般に放送する事となつて居るが時間には毎夜七時二十分の氣象通報後或は九時四十分の同通報後になる模様であると

毎日相次ぐ

參觀人

磐中の調査

磐城中學校は生徒數に於て東北一である丈に教授振りや施設經營を視察に来る者毎日相次ぎ橋本校長は是れが應接に繁忙を極めてゐるが去る四月迄一ケ年間の參觀人總計は二千五百十四名にて之を内譯すれば 教員百五十六名 父兄約三百名 町村長學務委員百餘員 修學旅行生徒約二千名 毎夜七八人宛の參觀人があつたと

鮮人と支那人

平町の在學數

平町各小學校にては縣からの通牒により朝鮮人及び支那人の在學數を調査したが其の結果左の如くである (第一)朝鮮人二名(第二)朝鮮人二名、支那人一名 (第三)朝鮮人一名

双中を迎へて

磐中大勝し

平商惜敗す

昨日の野球戦

既報双葉中學校の遠征軍を迎へての野球戦は昨日午前十一時より磐中グラウンドに於て先づ磐中對双中の試合に始まり高木(球)大越(一)國井(二)佐分利(三)各審判の下に磐中優勢にて開始、

澤谷村部妻田谷内木

富大今阿新龜半武鈴 投捕(一)三遊右(中)左 浦藤中野邊戸平田田 杉佐田秋渡小大戸中

磐陽野球大會に

磐中及平商出場

磐陽野球協會主催第二回磐陽野球大會は来る十九日午前八時半より磐中平商の兩校グラウンドに於て開催されるが磐中及び平商は中等學校野球統制に依り出場せぬ模様であつた爲め一般ファンは失望してゐたが此程兩校共磐中では高月、平商は揚士と各々假名し出場する事になつた因に第一回戦の組合せは左の如くである

第一回戦 (大)鈴 内3 0 (小)佐 齊 藤 (新)木 妻0 3 (山)小 木 (大)鈴 内3 0 (星)鈴 木 第三回戦 (大)鈴 内3 1 (山)小 田 野

職員庭球

けふ試合を

磐城中學校職員對磐城高等女學校職員の庭球試合は本日午後二時より磐中グラウンドに於て舉行されるがメンバは左の如くである

平郵便局 各課對抗野球

既報平郵便局各課對抗優勝旗爭奪野球戦は昨日午前十一時より第一校グラウンドに於て舉行されたが戦績は左の如く全回迄の成績は郵便人各二点、電信、保險各一点にて来る十九日郵便部對備人部の決勝戦を行ふと 郵便部12 3 備人部 電信部9 6 保險部

婦人部

獨立打合

理髮組合總會

平理髮業組合では来る十五日午後三時より平署會議室に於いて總會を開き優良組合員の表彰並に婦人部獨立運動に就いて打合せを行ふ筈

小川村春蠶況

石城郡上下小川村の春蠶は大體五齡七八日にして今後一兩日を以つて全部上簇する模様であると

平町人事

△彌宜町七 石田健治氏長女 初子 回 婚 姻 △仙臺市國分町九二 小西恒藏氏(二四)平町古鍛治町一 佐藤トキ子(二〇) 回 死 亡 △搔槌小路三三 中山壽一(五一)

麥は増収

小川村農況

石城郡上下小川村の麥作は

# けふ鈴木代議士が

## 本會議議に説く

### 救済策樹立の緊急なる理由 石炭運賃値下提案説明後

## 陳情委員奔走

既報平地方の救済運動に關し陳情委員たる  
山崎吉平 千葉彦治 高橋龜松 伊東一 田村參也

の五氏は昨日の準急行にて上京、先づ鶯谷旅館に鈴木辰三郎代議士を訪問、事茲に至る經過顛末を報告し更に佐藤、比佐代議士を訪ねたるも

**不在の** 爲め鈴木代議士に隨伴されて政友會本部に至る河上哲太、田邊七六高見之通の三幹部に會見、

漁農村及び中小工業者、炭礦等の窮乏せる  
**現状を** 詳細に具陳し是れが打開策援助を懇請せる結果、三幹部も痛く同情の意を表して是れを諒として本日鈴木代議士が本會議に於ける初舞臺として石炭運賃値下に關する提案理由の説明を爲すに當り、救済策樹立の緊急を要する点に言及して大いに各派の輿論喚起に努める事となつたといふ

## 民政部會も

### 代表者上京

#### 窮境打開策を

#### 幹部參集中合

民政黨石城部會にては十一日午後七時より民政黨俱樂部に於て幹部有志卅名參集し時局問題に對し懇談を交換し左の申合せを爲して散會した

疲弊困憊せる農漁村救済に就ては政府に於ても既

に四大救済策を定むる等着々に其實現を期しつつあるを以て此場本部會に於ては徒らに附和雷同的に決議を爲し若くは多數の陳情委員を上京せしむる等所謂黨勢擴張の具に供する如き事を避け最も直

學なる態度を以て部會代表者貳名を上京せしめ農漁村並に中小工業者の救済及當地の盛衰に重大關係を有する炭礦業者の窮境を打開せしむる様

## 野外演習中に

### 不發彈が破裂

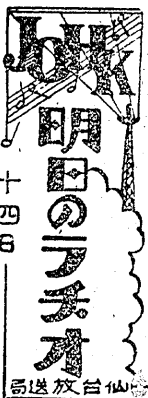
#### 平商生が大火傷

平商業學校五年生磐崎村宇藤原森田正光(三)は去る十一日午前十一時頃野外演習のため飯野村宇宿地内に於いて學友四十餘名と演習中不發彈が破裂し右肩及び上唇に大火傷を受け直に木村病院に收容されたが可なり重體である

## 金貸泣せ

### 執行猶豫に

既報石城郡草野村大字下神谷字中川原居住新妻國造(四)が金千五百圓を詐取した私文書偽造行使詐偽事件の判決言渡しは本日午前十一時平區裁判所に於て中



今晚も明日も北東の風曇り小雨模様

## 今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話し「起重機」楠木卯馬
- 後六、二〇 コドモの新聞
- 松内則三
- 後六、二五 カレントトピックス
- ハロルドパーマー

## 鯉北上

### 農家手不足

石城郡豊岡村では鯉群北上のため各漁船いづれも出拂ひ農家の手傳ひをなす者がないので是れが手傳人を平内郷方面の知己を頼つて求める向が多いと

## 高久農桑休校

石城郡高久小學校では農繁期に入つたため尋常三年以下は本日より二週間四年以上は三週間の休暇を爲すと

## 平小唄を

### 縣下校長に披露

#### 平各校長が歌本を持參

既報平町各小學校長は去る九日より二日間飯坂及び福島に於て開かれた縣下小學校長會に出席したが其の席上へ平小唄の印刷物二百枚宛を持參配付し大いに宣傳したと

## 降りた處を

### 跳飛さる

去る十一日午後一時半石城郡好間村大字川中子字八方屋松本ノゾ(五)が乗合自動

## 明日の部

- 前九、一〇 料理献立「海老御飯」松本良雄
- 前一〇、三〇 家庭講座「精神衛生學上より見たる性癖」實生すぎ
- 後〇、〇五 落語「龍宮」三遊亭歌奴
- 後二、〇〇 家庭大學講座「新らしき朝」椎尾辨匡
- 後六、〇〇 子供の時間
- 室内樂 トリオサイネリア

## 線路に轉る

### 首なし死體

#### 自殺らしきと判定

今曉四時十二分平機關庫詰木村忠徳(三)が二百九十四號貨物列車を運轉して平驛を出發發着に向つて内郷村字御臺地内を進行中上り線路内に首なし死體を發見直ちに平署に届出たので係員出張檢死せるに死體は今村養蜂店なるハッピを着し今村の實印及び北海道移民の乗車割引券等を所持して居り相馬郡高平村守高田の今村榮吉(三)らしく自殺と見られ目下中村署に照會中

- 三圓 外面談(平町某)
- △子守 十四迄 尋卒 仕
- 着小使(平町某)
- △女中 廿三迄 尋卒 月
- 五圓(平町某)
- △農夫 五十以下 姿細面談(鹿島村某)
- △回 求職の部
- △女中 三十七才 高卒 給料面談(平町某)
- △自動車助手 十九才 高卒 給料面談(澤渡村某)
- △コック 三十才 高一修 給料面談(平町某)
- △難夫 二十八才 尋卒 給料面談(平町某)

# 幕末の剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉演  
近藤 紫雲畫

第七十四席 真庭念流達人櫻井五助

五助が病中代稽古  
里見主計は櫻井五助に對

主「豫て御姓名は長太郎より承はり居つたが、榊原家御浪士櫻井五助殿は其許にござるか、今日は狼籍者をお取押へ下されお蔭を以て當道場も謹附けず、まことに忝う存ずる」  
五「その會釋にては恐縮いたす、承はるに先生は御病中との事それにも拘らず彼等を打据えた御腕前の優れて居るのには感服いたしたあのやうな馬鹿者はさびしく懲し遣はすが功德でござる、シテお娘御も無事でござるか」  
と問はれて静枝が  
静「あなたのために無法者も去り、病中の父にも恙く又わたくしも怪我もいたさず厚く御禮を申し上げます」と大層喜んで居ります、そして武藏屋金五郎も參り又長太郎も来て縁起直しに一杯遣りませうと是から酒になつた、此事あつて以來主計の名が諸方に知れ、大分門人も殖えた、主計の病も癒り道場にも出られるが、借竹刀を取つて稽古をつける事はなりません、故に五



助が先生の氣力の全く恢復するまでと代稽古をする、素より斯道での達人、それに教へ方も親切で門人の勵みの出るやうにする  
五「大分出来て来たナ、今小手に入つた一本は頗る牙

教へて遣る、貴公の剣道は不得要領だナ、長い事竹刀を取つて痛い思ひをしたに似合ず、どうも妙な太刀癖がある、突きを入れるかと思ふと打を入れる、今度は確に打を入れるであらうと思つて居ると突きを入れる少しも貴公は考へない、それで叶かん、無理な事をせぬやうにオット、そんな事では人は斬れない、ソレ痛いとこゝろを一本行くぞお面だ、さあもう一本旨い、小手を取つたは美事だ、流石に貴公は老練家だ、竹刀を自由に振ること

えてゐる、その呼吸を忘れぬやうになさい、オットさうは參らぬぞ、ソレ行くぞお面だ、偉い、偉い、今の一本を受流した處は立派な腕だ、貴公は太刀筋が宜い、然し天狗になつては叶かん、愈らず學びなさい、さアさア代つた、江藤殿一本

たものだナ」  
云はれて五助が  
五「先生のお目の高いには敬服いたしました、拙者は溝口派の一刀流を學び、多少それに工夫をこらしどうやら一流を編出しましたれど未だこれにては満足いたしません、此上にも工夫いたし古人未發の田地を開拓いたす存意にござります、これにて宜いと満足いたさぬ内は無念流と申して居ります」  
主「それはお立派なお心懸けだナ、後生畏るべし貴公の如き人物が現はれたは斯道繁榮の因である」  
五「御賞美に與つて赤面の至り」  
と申しましたたが藝に達して居るは謙遜いたします、夫には藝がよく判るから自分の藝と引比べてあの人の茲が偉い、とても俺はそれに及ばぬと自分の缺點に許り眼を著けるから、技はまじく進みます、もう俺は名人だなどと氣をゆるすとそれで千秋樂、櫻井五助はそんな馬鹿ではない、一流を編出した大家でありながら未だこれでは叶けぬと一層精進する、借五助が代稽古をするに就て道場は日増しに榮えゆく内に主計の氣力も恢復して門人に教へるやうになつた、然し老人の事として多勢の門人に一人で教へる事は出来ない、それゆゑ五助に託して置く、此儘に過ぎ行けば何の異状もないが茲に櫻井がこの道場を去らねばならぬ事が出来

が出来る」  
などと云ふ、それですから五助に稽古をして貰ふを喜ぶ、これを見てゐた里見主計  
主「櫻井氏、貴公の剣道は無念流ではござるまい、一刀流から出たものと存ずるそれに一流工夫をなされ

た、それはどんな事だといふに武藏屋金五郎が五助に對ひ  
金「先生、當分この土地に居ないやうになさい、お前さんが横町の里見様の許に居ることが知れると面倒な事が起ります」  
五「ハアそれは何ういふ譯か、又知れると面倒な事が起るといふが誰に知れては宜しくないか」  
不思議さうに問ひます。

高橋時計店  
平町橋路小

貴金屬  
時計及眼鏡類  
懷中電燈  
キミガヨ電氣  
ランプ特約店

傘日とルソラパ  
美影點の傘日とルソラパ・頭街の日麗  
平四ツヤルツ電一〇四

りん病 永らく悩む人の福音  
天下の名湯別府温泉で出来た無効返金責任藥

岩別府淋症  
全國知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知らな  
雜誌 推奨 い方がありませうか  
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし慢性淋病、こしけ、渦濁の病みは不思議に止り連服するも絶對胃腸傷害なき各業であります。尚ほ此の藥は責任速効藥で二日以内服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します。慢性、悪性の人は七日以上服差して下さい。慢

美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送藥す。代金引換廿三錢手数料金納の事。

藥價  
急性用(黒箱) 一週分 參圓  
慢性用(赤箱) 一週分 五圓  
平町古鍛冶町一〇  
手販賣 阿康藥舖  
縣社ノ下(電話四四番)

貸切の御用命は?  
獅子吼(四四九)ノ勢デ  
眞先ニ……(マツサキ)  
三九ニタクシー!!!

金融  
銀行員、鐵道員、教員、有給官吏、確實ナ御方ニ貸シマス希望者ハ返信料ヲ添ヘ住所氏名職業金額ヲ明記シ御申込下サ  
親切、秘密、迅速ニ融通シマス。  
常磐線平町舊城跡四十二  
常磐商會